

高齢者交通事故防止運動

～ひろげよう 長寿社会へ 無事故の輪～

実 施 期 間

令和7年10月1日(水)～10月31日(金)



高齢運転者の交通事故防止

年齢を重ねると、誰でも身体の反応や視力・判断力に少しずつ変化や衰えが現れてきます。

「まだ大丈夫」と思っている、自分では気づきにくい小さな変化が、思わぬ事故につながることもあります。体調がすぐれないときや夜間の運転は、無理をせずできるだけ控えましょう。

運転免許センターでは、加齢に伴う身体機能や認知機能の低下などから、運転に不安を感じている高齢運転者やそのご家族などからの相談を受け付けています。お気軽にお電話ください。

安全運転相談ダイヤル #8080 (シャープハレバレ) ※平日 8:30～17:00

道路横断時の安全確認と夜光反射材の積極的な活用

道路を渡る時は、近くの横断歩道を必ず利用しましょう。信号機のない横断歩道では、歩行者優先でもドライバーが気づかないことがあるため、車が止まったことを確認してから渡ってください。

また、見通しの悪い場所や、停車車両の前後、道路を斜めに横断することは危険です。

薄暗い時間帯や夜間は、事故に遭うリスクが高まります。夕暮れ時や夜間に外出しなければならない時は、白色系の明るい服と夜光反射材を使いましょう。



早めのライト点灯とこまめな切替

例年10月の新潟県は、午後5時前に日が暮れ始めます。まだ明るいと感じていても、周囲からは見えにくいことがあります。ライトを早めに点けて、自分の存在を周りに知らせましょう。

また、早めのライト点灯と、こまめなハイビーム・ロービームの切り替えをすることによって、早期に歩行者を見つけることができます。



◆燕市年間基本運動「高齢者を交通事故から守る SSS(スリーエス)運動」
交差点では(S)しっかり止まって、(S)しっかり見る、(S)しっかり見せる

燕市交通安全重点施策「つばめ高齢者事故ゼロ作戦」展開中

燕 市 交 通 安 全 対 策 協 議 会

事務局：燕市 市民生活部 生活環境課 TEL0256-77-8162(直通)